

(林業振興・環境部) 地域資源を活用した林業・環境ビジネスの振興

<見直し(廃止)事業>

林業・環境分野

- ◆カーボン・オフセット等普及・審査効率化事業委託料(環境共生課) 5,204千円(うち、(一) 5,204千円)
 - ・事業概要
オフセット・クレジット制度の地方検証人の育成
オフセット・クレジット制度の普及、審査
 - ・これまでの成果
→ 地方検証人の育成1名、審査3件
 - ・見直し理由
地方検証人(ISO14065認定)による安価で質の高いオフセット・クレジット制度の妥当性確認、検証体制が確立
- ◆木質資源エネルギー活用事業委託料(環境共生課) 16,043千円(うち、(一) 16,043千円)
 - ・事業概要
木質バイオマス発電によるCO2削減を委託
 - ・これまでの成果
→ 未利用林地残材の安定供給及び利用体制の確立、全国初のJ-VER制度による森林資源の環境価値創造に貢献
 - ・廃止の理由
再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用し、発電事業者が自主的に行う体制に移行
- ◆木質バイオマス利用木材乾燥システム整備(林業環境政策課) 68,211千円(うち、(一) 35,135千円)
 - ・事業概要
森林技術センターに高周波・蒸気複合木材乾燥施設を導入
 - ・これまでの成果
→ 低コストで、品質が確保できる製材品の乾燥条件を確立するために必要な施設を整備(課題) 乾燥条件の早期確立と県内企業への技術移転
 - ・廃止の理由
事業の完了

エネルギー分野

- ◆新エネルギー導入促進事業費補助金(新エネルギー推進課) 20,000千円(うち、(一) 20,000千円)
 - ・事業概要
発電事業者が電力事業者の系統に連系(接続)するための費用に対する支援
 - ・見直し理由
地域にメリットを最大限還元する発電事業推進策の強化

財源(一部)組替

見直し

<課題解決先進事業等>

1. 林業分野

解決すべき課題

- ・森林の集約化、持続的な管理の基礎となる「森林経営計画」の速やかな作成
- ・材価が低迷する中、大型工場等が新設 → 短期間に大量の原木を増産
- ・人口減少+森林資源増加 → 一層の木材需要の拡大、販路開拓
- ・再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用し、中山間の所得向上、雇用創出

対策

- ◆森林整備地域活動支援交付金(森づくり推進課) **拡充** 130,083千円(うち、(一) 75,793千円)
 - ・事業概要: 森林経営計画の作成、森林の集約化のための地域活動に対する支援
※(旧)森林施業計画から(新)森林経営計画への速やかな移行作業に対する支援を拡充
 - ・成果(想定): 森林経営計画作成 13,877ha(拡充分10,135ha)、施業集約化 1,670ha
- ◆製材用原木増産支援事業費補助金(木材産業課) **拡充** 86,288千円(うち、(一) 46,288千円)
 - ・事業概要: 原木生産のための立木購入、作業道整備等に対する支援
※架線作設(皆伐作業用)、原木運搬経費、立木購入資金の利子への支援を拡充
 - ・成果(想定): 安定供給協定に基づき、原木を計画的に増産して加工事業者に供給
原木生産量65千m3(H24比:15千m3増)、流通支援55千m3
- ◆地域材活用促進支援事業費補助金(木材産業課) **NEW** 104,903千円(うち、(一) 0千円)
 - ・事業概要: 地域材を活用した木造住宅の建築や木製品等の購入にポイントを付与し、地域の農林水産物との交換等を行う取り組みを支援
 - ・成果(想定): 地域材の需要拡大(対象:住宅400棟)、農林水産物とのポイント交換による地産地消の推進
- ◆木質バイオマス発電事業費補助金(木材産業課) **NEW** 3,500,000千円(うち、(一) 1,400,000千円)
 - ・事業概要: 木質バイオマス発電所(2箇所)の整備に対する支援
 - ・成果(想定): 木質バイオマスの活用181千t、雇用(発電施設、燃料供給)の創出

2. エネルギー分野

解決すべき課題

- ・再生可能エネルギーの導入促進、売電収益を地域に還元する仕組みの構築

対策

- ◆こうち型地域還元再エネ事業主体出資金(新エネルギー推進課) **NEW** 175,000千円(うち、(一) 175,000千円)
 - ・事業概要: 県、市町村、民間企業による発電事業主体を設立するための出資
 - ・成果(想定): 地域にメリットを最大限還元する太陽光発電事業(5,000kW)の展開

南海地震対策関連予算（林業振興・環境部）

1 2 3, 1 1 2千円

1 県有施設の耐震化、ブロック塀等の転倒防止対策等

31,869千円

● 南喜ヶ峰森林公園 1,399千円

・森林学習展示館、管理棟の耐震診断



● 牧野植物園 21,114千円

・施設保全計画の策定
・遊歩道脇の石積み改修
・施設利用者、避難者のための食糧等の備蓄



● 月見山こどもの森 7,662千円

・管理棟、学習室の耐震診断の実施
・駐車場法面の崩壊防止対策
・室内安全対策（ガラス飛散防止）
・施設利用者、避難者のための食糧等の備蓄



● その他の施設 1,694千円

・室内安全対策（ガラス飛散防止、器具固定等）

2 地すべり防止対策

55,000千円

● 地すべり抑制・抑止工

55,000千円

・いの町葛地区



3 陸こうの常時閉鎖の推進

10,000千円

● 陸こうを代替する通行施設の設置

10,000千円

・安芸市赤野地区 7基



4 津波からの避難路・避難場所等の確保

11,000千円

● 避難場所に隣接する山林の落石防止工

11,000千円

・室戸市津呂地区



5 災害廃棄物処理計画の作成

15,243千円

● 災害廃棄物処理実施計画の作成委託 13,755千円

・高知県災害廃棄物処理実施計画の作成
・市町村災害廃棄物処理実施計画（案）の作成

● 実施計画内容協議 845千円

● 市町村説明会 431千円

● 被災現地、先行事例の調査 212千円



公共事業総括説明資料 (林業振興・環境部)

効率的な林業経営や森林の適正整備のための林道整備の促進

2,448,474千円(対前年度▲42,717千円)

- 林道開設事業費 661,518千円
島日浦線外 計17路線17箇所
- 道整備交付金事業費 1,006,956千円
寒風大座礼西線外 計20路線27箇所
- 山のみち地域づくり交付金事業費 780,000千円
中村・大正線外 計4路線8箇所

健全な森林の育成のための間伐や多様な森林整備の促進

1,168,040千円(対前年度+120,000千円)

- 造林事業費 1,168,040千円
除間伐等2,030ha

山地災害の早期復旧と林地崩壊の防止

3,374,329千円(対前年度+37,460千円)

- 山地治山事業費 1,440,944千円
北川村島外 計30箇所
- 水源地域等保安林整備事業費 266,035千円
大川村小南川外 計9箇所
- 山地防災事業費 1,183,926千円
室戸市馬路外 計38箇所
- 災害関連緊急治山等事業費 300,000千円
- 治山施設等災害関連事業費 9,000千円
- 林地崩壊対策事業費 14,400千円
- 国直轄治山事業費負担金 160,024千円
南小川地区外 計4地区

H25当初予算見積額 6,991,203千円
(対前年度+114,743千円)